

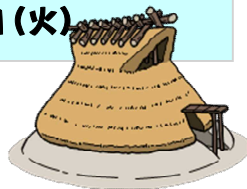


# 富士市立吉原北中学校 出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年4月25日(火)



「生徒が歴史に興味をもつきっかけになって大変よかったと思います。」

富士市立吉原北中学校の村瀬教頭先生が、特別支援学級の社会科授業で古代史の理解を深めるために計画し、中学1年生から3年生までの6人が勾玉作り体験を行いました。

## 勾玉作り体験

初めに、勾玉の材質や形、用途など勾玉の歴史を説明しました。特別支援学級の生徒には少し難しかったようでした。次に、作り方の説明をしました。3枚の紙やすりの使う順番とどれだけ削れるか等、わかりやすく伝えました。



第1段階の粗い紙やすりで、大まかな形を削っていきます。なかなか根気のいる作業なので、途中で飽きてくるかと思いましたが、みんな集中してろう石を削っていました。1時間弱で第1段階を終え、第2段階に進みました。

「削るのが楽しかったです。」

第2段階は、2枚目の紙やすりで、第1段階で着いた傷を取る作業です。この作業が仕上がりを左右する重要な作業です。みんな丁寧に傷を取っていました。

「楽しかったけど、難しかったです。」

第3段階は、石をつるつるにする作業です。紙やすりに水を少しつけて、石の表面がなめらかになるのを感じながら磨きました。

最後は、石に蛍光ペンで自分の好きな色を着けて、ワックスを塗り、紐をつけて出来上がり！

初めての経験で、とても楽しく学習することができたようです。

「色付けがとても面白かったです。」

「作るのが楽しかったです。」

「楽しかったし、作れたことがうれしい。」

## 先生方の感想

「活動は生徒が歴史に興味をもつきっかけになって大変よかったと思います。勾玉の説明については、支援級の生徒には少し難しかったように感じました。勾玉作りは、生徒が集中して活動できていました。自分で作りあげることで昔の人の大変さに共感できたと思います。一人ひとり丁寧に対応していただきありがとうございました。」

